

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年12月 日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">地域DMO</span>	
観光地域づくり法人の名称	多気町商工会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 三重県多気町	
所在地	三重県多気郡多気町	
設立時期	平成19年4月1日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	8人【常勤7人（正職員5人・臨時職員2人）、非常勤1人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 松浦信男  （出身組織名） 多気町商工会 多気町観光協会	平成24年5月より多気町商工会長として、多気町の商工業振興に貢献してきた。また平成27年6月より多気町観光協会の会長に就任し、地域の観光振興への展開等に積極的に取り組んでいる。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 堀江勝昭「専従」  （出身組織名） 多気町商工会	令和元年4月1日に度会町商工会から配属。それまでは伊勢小俣町商工会・明和町商工会に席していた。これまでの経験を活かし、データ分析及びマーケティングに取り組んでいる。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 高垣内利江「専従」  （出身組織名） 多気町商工会	令和5年4月1日に伊勢小俣町商工会から配属。多気町商工会・多気町観光協会の総務関係及び経理関係を行っている。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）	（氏名） 宗林 翼	令和5年4月1日に大台町商工会から配属。大台町商工会在籍時には大台町観光協会の運営にも携わっており、その手腕を多気町観光協会でも発揮

<p>※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること</p>	<p>(出身組織名) 多気町商工会</p>	<p>している。多気町の文化や産業をPRするなど、多気町への観光誘致に取り組んでいる。</p>
<p>各部門（例：旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）</p>	<p>(氏名) 中西佳代  (出身組織名) 多気町商工会</p>	<p>令和5年4月1日に度会町商工会から配属。度会町商工会在籍時には、地域特産品を生かした新商品開発・お土産品開発を手掛けていた。このため他地域との交流もあり、豊富な知識ノウハウを持っている。</p>
	<p>(氏名) 西本麻弓  (出身組織名) 多気町商工会</p>	<p>令和4年5月13日に配属。当初より本地域での周遊客活動に取り組んできた。このため当地域交通事業者とも友好関係となっている。</p>
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>三重県多気郡多気町 企画調整課（観光・商工業との連携及び支援、ハード面での受入環境整備）</p>	
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>一般社団法人医食同源みえ（特産品販売・新商品開発・アクティビティ事業の運営・飲食店・動物園運営・宿泊施設運営） 丹生大師の里管理組合（宿泊施設運営） 合同会社元丈フォレスト（特産品販売・飲食店）</p>	
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p><b>【該当する登録要件】①②</b> 多気町商工会では、通常総会を年1回、理事会を年5回、他各部会・委員会を年5回行っている。委員会には観光委員会が設置されており、町づくりを念頭においた観光産業の活性化に寄与する活動も行っている。観光委員会は、商工会役員と連携する事業者とで構成されており、多気町商工会事業の意思決定にも関与している。今後は、多気町役場担当者も役員に招き、幅広い構成員で事業を実施していく。観光委員会＝DMOとなる。また多気町観光協会の運営・事務も行っている。</p> <p>◆直近の開催 通常総会：令和5年5月20日 理事会：令和5年11月2日 商業部会：令和5年9月27日 工業部会：令和5年7月18日 観光委員会：令和5年9月4日</p> <p>●多気町商工会観光委員会＝DMO ・令和元年6月に、町づくりを念頭においた観光産業の活性化に寄与するよう設置した。メンバーは地域内のアクティビティや宿泊施設を運営している事業所で構成されている。</p> <p>●事業推進ワーキンググループ ・多気町商工会観光委員会を中心に、各地域の活動グループとともに事業のPDCAサイクルを実践し効率の良い事業を実施していくため協議していく。</p>	

	<p>◆直近の開催</p> <p>第1回多気町観光ビジョンワークショップ：令和3年10月28日  第2回多気町観光ビジョンワークショップ：令和3年11月17日  第3回多気町観光ビジョンワークショップ：令和3年12月15日</p>								
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>令和2年から多気町商工会と多気町観光協会が共催して実施している観光フォーラムで、地域住民に対し、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組を行う。</p> <p>多気町商工会と女鬼峠保存会が協力し合って女鬼峠を世界遺産に登録できるように推進活動を行っている。</p> <p>女鬼峠は、伊勢参りから熊野神社参りに行く途中の峠であり、江戸時代は非常に人通りが多かった道でもある。このことを後世まで伝えようとしているのが女木峠保存会である。</p> <p>多気町は小さくはあるが、宿場町でも栄えた街であり地域には名所が点在している。これを線となるように活動しているのが多気の語り部会である。</p> <p>この2点を次世代に伝えようと開催したのが多気町観光フォーラムである。</p> <p>また地域にある観光資源を活用し取りまとめていく組織としてDMOがあるので、この中身を知っていただくためDMO経営分類講演も併せて行った。</p> <p>◆住民向けセミナーの開催</p> <p>多気町観光フォーラム：令和5年3月26日</p>								
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p><b>【活動の概要】</b></p> <table border="1" data-bbox="432 992 1409 2013"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 992 619 1043">事業</th> <th data-bbox="619 992 1409 1043">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1043 619 1503"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="619 1043 1409 1503"> <p>時 期：平成29年度</p> <p>事業名：小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を利用したマーケティング・情報発信事業 ～「伊勢の国多気町の地元めし」開発による多気町商業再活性化プロジェクト～</p> <p>内 容：町内の飲食店、特産品 「米」「有機野菜」「伊勢芋」「伊勢茶」「みかん」「前川次郎柿」「山菜」「ジビエ」「地酒」等を活用し、多気町の安全安心の食材を調査・研究・追求し、同時に、当町の飲食店の現状、観光実態等を隈なく調査し、医食同源の町づくり目指す多気町の豊富な資源を活用した「伊勢の国 多気町地元めし」の開発を行った。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1503 619 1912"></td> <td data-bbox="619 1503 1409 1912"> <p>時 期：平成30年度</p> <p>事業名：小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を利用したマーケティング・情報発信事業 ～「歴史に溶け込む古民家再生」による多気町未来創造プロジェクト～</p> <p>内 容：利用価値のなくなった空き家や古民家等を、多気町の歴史の中に溶け込むようなデザインでリノベーションし、魅力的な宿泊施設・飲食店・ショップとして活用し、農村文化を継承しながら町の再活性を図るため調査研究を行った。また農業体験などの体験型ツアーの種類を把握する調査を行った。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1912 619 2013"></td> <td data-bbox="619 1912 1409 2013"> <p>時 期：令和3年度</p> <p>事業名：多気町観光協会ホームページ事業</p> </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>時 期：平成29年度</p> <p>事業名：小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を利用したマーケティング・情報発信事業 ～「伊勢の国多気町の地元めし」開発による多気町商業再活性化プロジェクト～</p> <p>内 容：町内の飲食店、特産品 「米」「有機野菜」「伊勢芋」「伊勢茶」「みかん」「前川次郎柿」「山菜」「ジビエ」「地酒」等を活用し、多気町の安全安心の食材を調査・研究・追求し、同時に、当町の飲食店の現状、観光実態等を隈なく調査し、医食同源の町づくり目指す多気町の豊富な資源を活用した「伊勢の国 多気町地元めし」の開発を行った。</p>		<p>時 期：平成30年度</p> <p>事業名：小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を利用したマーケティング・情報発信事業 ～「歴史に溶け込む古民家再生」による多気町未来創造プロジェクト～</p> <p>内 容：利用価値のなくなった空き家や古民家等を、多気町の歴史の中に溶け込むようなデザインでリノベーションし、魅力的な宿泊施設・飲食店・ショップとして活用し、農村文化を継承しながら町の再活性を図るため調査研究を行った。また農業体験などの体験型ツアーの種類を把握する調査を行った。</p>		<p>時 期：令和3年度</p> <p>事業名：多気町観光協会ホームページ事業</p>
事業	実施概要								
<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>時 期：平成29年度</p> <p>事業名：小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を利用したマーケティング・情報発信事業 ～「伊勢の国多気町の地元めし」開発による多気町商業再活性化プロジェクト～</p> <p>内 容：町内の飲食店、特産品 「米」「有機野菜」「伊勢芋」「伊勢茶」「みかん」「前川次郎柿」「山菜」「ジビエ」「地酒」等を活用し、多気町の安全安心の食材を調査・研究・追求し、同時に、当町の飲食店の現状、観光実態等を隈なく調査し、医食同源の町づくり目指す多気町の豊富な資源を活用した「伊勢の国 多気町地元めし」の開発を行った。</p>								
	<p>時 期：平成30年度</p> <p>事業名：小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を利用したマーケティング・情報発信事業 ～「歴史に溶け込む古民家再生」による多気町未来創造プロジェクト～</p> <p>内 容：利用価値のなくなった空き家や古民家等を、多気町の歴史の中に溶け込むようなデザインでリノベーションし、魅力的な宿泊施設・飲食店・ショップとして活用し、農村文化を継承しながら町の再活性を図るため調査研究を行った。また農業体験などの体験型ツアーの種類を把握する調査を行った。</p>								
	<p>時 期：令和3年度</p> <p>事業名：多気町観光協会ホームページ事業</p>								

	<p>内 容：多気町観光協会のホームページを作成し、事業所の紹介と上記2事業の情報を発信した。</p>
受入環境の整備	<p>時 期：平成30年度                  事業名：小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を利用したマーケティング・情報発信事業 ～「歴史に溶け込む古民家再生」による多気町未来創造プロジェクト～                  内 容：利用価値のなくなった空き家や古民家等を、多気町の歴史の中に溶け込むようなデザインでリノベーションし、魅力的な宿泊施設・飲食店・ショップとして活用し、農村文化を継承しながら町の再活性を図るため調査研究を行った。また農業体験などの体験型ツアーの種類を把握する調査を行った。                  結果、現在、地域を中心とした農泊事業が始まろうとしている。</p>
観光資源の磨き上げ	<p>時 期：令和3年度（観光協会主催）                  事業名：多気町観光ビジョン策定研修会 ～観光資源ブラッシュアップ～                  内 容：皇學館大学 学長 河野 訓 氏を招き、多気町観光資源を再度発掘し、現在どのような状況であるか。どう生かしていけばいいのかを、ワークショップ形式で学んだ。</p>

**【定量的な評価】**

●観光入込客数（人）

	H30	R01	R02	R03	R04
観光入込客数	394,768	360,679	296,819	261,195	269,718

新型コロナウイルス感染症により入込客は減少している。

●宿泊者数（人）

	H30	R01	R02	R03	R04
宿泊者数	—	—	1,000	2,000	2,000

●多気町観光協会ホームページ閲覧数（回）

	H30	R01	R02	R03	R04
HP 閲覧数	—	—	—	1,000	15,000

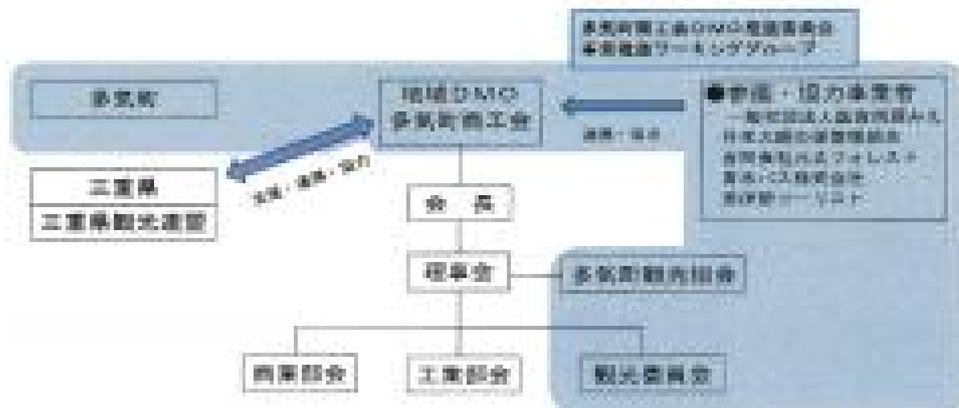
**実施体制**  
 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

**【実施体制の概要】**

多気町観光協会の運営を受け持つ多気町商工会が母体となり、行政、宿泊業者、観光事業者、飲食業者等多様な関係者が参画し、各会議、事業を展開する。

また三重県、多気町、地域関係団体と連携するなど、官民が密接な協力体制をとり運営する。

**【実施体制図】**



**2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域**

**【区域の範囲が分かる図表を挿入】**



**【区域設定の考え方】**

三重県多気町は、松阪牛で有名な松阪市の隣町で、伊勢市にも近く、三重県のほぼ中央に位置する人口1万6千人足らずの小さな町である。

一級河川の「櫛田川」と、2006年から6年連続で清流日本一に選ばれている「宮川」に挟まれた肥沃な農地の広がる農業の盛んな町でもある。一方、小売業の年間販売額は、2004年に100億円を突破し、2008年に商業施設クリスタルタウンが完成し、2015年には140億円になった。

また、多気町は前述したとおり肥沃な農地や山林、河川等自然環境豊かな地であり、町名も”食べ物がたくさん取れるところ”から多気町と名付けられたと言われている。

### ① 世界遺産登録に向けて

熊野古道の一つ女鬼峠がある。整備が出来ていなかったことから前回の世界遺産登録には及ばなかったが、現在世界遺産に向けて活動中である。

熊野三山を目指した巡礼者たちは、お伊勢参りをすませた後、伊勢路のスタート地点である田丸で巡礼衣装に着替え、熊野三山を目指した。熊野街道（伊勢路）で最初に越える峠が女鬼峠ある。女鬼峠は昼間でもほの暗く、千枚岩の岩盤を切通した道は、古道の歴史を感じることができる。

### ② アクティビティ

ごかつら池ふるさと村やヴィソンがありアクティビティが充実している。ごかつら池ふるさと村には、スワンボートや三重県では唯一のバス釣りができる池があり、みかん狩りもできる。ヴィソンでは、オフロードバギーが人気である。また宮川と櫛田川がありカヌー下りなどが盛んに行われている。

### ③ 文化財の町

町内には多くの文化財があり多くの人々が訪れている。

#### ・長盛寺（ちょうせいじ）

櫛田川の中程、JR紀勢本線「相可駅」からほど近いところに位置する寺院。所蔵されている「薙刀」は国の重要文化財に指定されており、刃渡り65cm、柄の長さ71cm。暦応5年(1342)の作で、当時の名工直次(佐兵衛尉(さひょうえのじょう))の銘が入っています。

寺伝によれば、この薙刀は天正4年(1576)北畠具教(とものり)が三瀬の館で討たれた後、その一族はこの薙刀を持ち、栃原(大台町)に住んで吊っていたものといわれています。

#### ・法泉寺（ほうせんじ）

天啓公園の旧法泉寺は、填啓(てんけい)上人が万治2年(1659)はじめてこの地に小庵を結び、のち正徳5年(1715)梅嶺(ばいれい)和尚が開山。以来300年南勢黄檗(おうぼく)宗の名刹として知れわたり、多くの文人たちがここに遊びました。

今は「天啓公園」として町が管理しています。涵翠池がありモミジがよい。

#### ・普賢寺（ふっけんじ）

国の重要文化財になっている普賢菩薩を本尊とする。普賢菩薩は像高92cmクスノキの一木造り、平安前期のもの。神秘感のただよう中にも親しみを感じるこのお姿を、江戸時代の人々は美人の典型としてあがめました。

創建年代：奈良

#### ・丹生大師神宮寺（にゅうたいしじんぐうじ）

神宮寺（じんぐうじ）は、三重県多気郡多気町にある真言宗山階派の寺院。山号は丹生山。女人高野山丹生山神宮寺成就院と号する。通称「丹生大師」。丹生神社の神宮寺である。

高野山が女人禁制だったのに対し、女性も参詣ができたので「女人高野」とも呼ばれる。

通称の丹生大師とは空海（弘法大師）のことである。

・西導寺（さいどうじ）

浄土宗の寺で徳蓮社善誉の開創と伝えられている。国の重要文化財に指定されている絹本着色法然上人絵伝が大切に保存されている。

創建年代：1469年

・近長谷寺（きんちょうこくじ）

当寺院は、真言宗山階派に属し、丹生山近長谷寺と称して仁和元年（885年）伊勢の国の豪族、飯高宿禰諸氏が入皇五八代光孝天皇の勅願所として、内外近親等に勧進して建立されたものである。

十一面観音立像（国指定重要文化財）象高6.6m。直立の寄木造りの巨像で、肩からの天衣は裳裾にて二重の円弧を作り、両手の端から出た天衣は垂直に近く、大きな曲線を描いて左右に垂れているため、この像をすらりとした壮麗な姿にしている。

衣文は彫り浅く流麗な藤原調で、裾には平安前期式の鋭い衣のしわが作られ、そこに一木造りのような力強さを示している。

・金剛座寺（こんごうざじ）

白鳳2年（673年）に建てられた、藤原鎌足・不比等ゆかりの寺と伝えられており、行基や西行伝説も残されている。山頂からは伊勢の町や天気の良い日には富士山まで一望できる。

・佐那神社（さなじんじゃ）

天岩戸伝説で天照大神が隠れた天の岩戸を開けて世界に光を取り戻した、手力男命（たちからおのみこと）を祀る神社です。

・相可上神社（おおかがみじんじゃ）

神話「天の岩戸開き」の三大神が祀られており、ここ相可上神社には「文章力の上達」「演出力の上達」「字の上達」「学業成就」など文筆の神様・天児屋根命（あめのこやねのみこと）が祀られている。

・丹生神社（にゅうじんじゃ）

延喜式神名帳、飯高郡九座の一つ。往古、この地の山々より多くの水銀を掘り出し、伊勢の両宮へ貢いだ事は外宮旧事記等にも記載されており、この神社には金山槌・金山樋等の神宝がある。

【観光客の実態等】

三重県下最大級リゾート施設と言われるヴィソンの入込客数は500万人で、大半が県外客であり、買い物と食事を求めて来場する。ごかつら池ふるさと村は30万人で、大半が多気町隣接市町からと言われており、アクティビティや買い物目的で来場される。文化財での入込客数は1万人以下である。今後はVISONとごかつら池ふるさと村の客をいかに他の施設にも行っていただけるかが課題となっている。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

観光施設：ヴィソン、ごかつら池ふるさと村

商業施設：マルシェグランマ（ごかつら池ふるさと村）、元丈の館

宿泊施設：勢山荘

自然：宮川、櫛田川、ごかつら池ふるさと村

文化：長盛寺、法泉寺、普賢寺、丹生大師神宮寺、西導寺、近長谷寺、金剛座寺、佐那神社、相可上神社、丹生神社

スポーツ：釣り、カヌー

イベント：おいなまつり、おたコス

**【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】**

ホテル：ヴィゾン、ホテルエコノ、勢山荘  
 キャンプ場・ロッジ：ごかつら池ふるさと村、勢山荘

**【利便性：区域までの交通、域内交通】**

## ●一次交通

【名古屋から】約1時間30分

電車：近鉄名古屋線（松阪駅）～JR紀勢本線（多気駅）

車：名古屋高速 → 東名阪自動車道 → 伊勢自動車道（勢和多気IC）

【大阪から】約2時間

電車：近鉄大阪線（松阪駅）～JR紀勢本線（多気駅）

車：阪神高速 → 名神高速道路 → 東名阪自動車道 → 伊勢自動車道（勢和多気IC）

南紀特急バス（三重交通）松阪駅 → ヴィゾン

高速バス（青木バス）東京 → ヴィゾン

## ●二次交通

でん多（町内タクシー）

**【外国人観光客への対応】**

今までインバウンド旅行者をターゲットとしてこなかった。しかしヴィゾンはインバウンド旅行者をターゲットとしているため、他の施設事業者もターゲットとし始めた。しかしヴィゾンのオープンはコロナ禍であったので、他の施設事業者はインバウンド旅行者対応のノウハウは持っておらず今後DMO等の支援が必要とされている。

**3. 各種データ等の継続的な収集・分析**

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	観光振興施策の立案・見直しの基礎資料として活用	観光調査データを元に算出
延べ宿泊者数	誘客実績の把握、対策の基礎データとして使用	多気町が実施する各宿泊施設から収集
来訪者満足度	観光振興施策の立案・見直しの基礎資料として活用	多気町観光協会が実施するアンケート調査から収集
リピーター率	観光振興施策の立案・見直しの基礎資料として活用	多気町観光協会が実施するアンケート調査から収集
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため	多気町商工会 Instagram を活用して把握
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため	アンケート調査を多気町の総合計画に合わせて実施
アクティビティプログラム参加者分析	アクティビティ層の商圏と行動分析	アウトドア顧客への個別アンケート調査の実施

## 4. 戦略

### (1) 地域における観光を取り巻く背景

当町には多くの文化財や体験型観光があるものの知名度低く旅行者は少ない。季節を問わず地域を訪れ滞在する“アクティブな観光客”の獲得が恒常的な課題となっている。

三重県下最大級リゾート施設ヴィソンがオープンしたが、コロナ禍ということもあり目標にしていた入込客数を大きく下回っていたが、コロナが第5類になった時から入込客数は増加傾向になってきており、今後は県内外やインバウンド旅行者の入込客数が見込まれている。

しかしコロナ禍から新しい生活様式が求められているため、当地域ならではの観光を模索していかなくてはならないと考えている。

### (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産登録を目指している女鬼峠があり、宮川・櫛田川という2つの清流河川あるなど、自然豊かな環境である。</li> <li>・ごかつら池ふるさと村やヴィソンにアクティビティやみかん狩りがある。</li> <li>・宿泊施設もヴィソン、ホテルエコノ、ごかつら池ふるさと村、勢山荘があり色々な形の宿泊が楽しめる。</li> <li>・文化財が豊富にある。</li> <li>・ヴィソンによる波状的町内業者への潤い</li> </ul>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光産業者が少ない</li> <li>・観光をPRするためのツールが無く、また開発し活用するのが弱い。</li> <li>・二次交通が少ない。</li> </ul>
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが第5類になったためインバウンド旅行者の増加</li> <li>・女鬼峠の世界遺産登録による県外客の増加</li> </ul>	<b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨土砂災害</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大</li> <li>・南海トラフ地震</li> </ul>

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

### (3) ターゲット

#### ○第1ターゲット層

中京圏・関西圏の観光客（アクティビティ ライト・ミドル層）

#### ○選定の理由

・ごかつら池ふるさと村のアクティビティ（スワンボート・みかん狩り）を楽しむライト層や女鬼峠のウォーキングを楽しむミドル層が、中京圏・関西圏から2時間というアクセスできることから、多気町への流入増加が見込まれる。

当地域は、伊勢神宮へ行くまでのところに位置しているため、昔から中京圏・関西圏の来町者がある。誘客実績としては、ふるさと村スワンボート利用客・みかん狩り紹介客数として、令和3年度189,082人、令和4年度192,236人となっている。このように他地域に比べ割合が高くなっていることから重点地域として中京圏・関西圏をターゲットとする

#### ○取組方針

- ・主要施設、及びアウトドア施設へのパンフレット設置
- ・SNS展開（Facebook、Instagram、Twitter）やWEB施策（リスティング広告、SEO対策等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客のリピーター化（ファンクラブ的機能）・メールマーケティング</li> <li>・三重県事業との連携</li> </ul>	
<p>○ターゲット層 国内の観光客（アクティビティ・文化財 コア層）</p>	
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴィソンは三重県下最大級のリゾート施設であり、TVCMも全国的に放送されているなど、全国的に有名である。</li> <li>・町内には、多くの文化財等があり現在でも多くの人が、この多くある文化財を訪れている。</li> </ul> <p>誘客実績としては、現在のところ把握していない。今後は多気語り部会・勢和語り部会がガイドした人数を元に誘客実績としていく。</p> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS展開（Facebook、Instagram、Twitter）やWEB施策（リスティング広告、SEO対策等）</li> <li>・全国規模のメディアへの掲載営業</li> <li>・交通アクセスの改善と、旅行商品の造成</li> </ul>	
<p>○ターゲット層 インバウンド旅行者</p>	
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴィソンはインバウンド旅行者をターゲットとした施設でもあり、コロナが5類に変わったことにより、今まで以上にPRに努めることが見込まれ、多くのインバウンド旅行者が訪れることが予想される。</li> <li>・体験型観光を行うことによってインバウンド旅行者の滞在期間を長期化する。</li> </ul> <p>誘客実績としては、現在のところ把握していない。今後はヴィソンに訪れるインバウンド旅行者を人数を元に誘客実績としていく。</p> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型観光の造成・販売</li> <li>・WEBページを強化と多言語化</li> <li>・パンフレットの強化と多言語化</li> </ul>	

#### （４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>『イノベーションの街 多気町』</p> <p>多気町には多くの文化財が存在する。また新しい施設ごかつら池ふるさと村やヴィソンがある。</p> <p>多気町の文化財を訪れることにより、多気町の文化・歴史を学び、ごかつら池ふるさと村やヴィソンでアクティビティを楽しみ、美味しいものに舌鼓を打ち、また体験型観光を行なえる町。</p>
②コンセプトの考え方	<p>多気町の勢和地区には9つ以上の文化財があり、また多気地域にはごかつら池ふるさと村やヴィソンなどの新しい施設がある。このように多気町は古いものと新しいものとの融合の町となっている。</p> <p>ごかつら池ふるさと村やヴィソンには年間800万人の人が訪れる一方で勢和地区の文化財には年間数百人となっているなど入込客数が大きく差がつ</p>

	<p>いている。現多気町は、旧多気町と旧勢和村が平成19年に合併し出来た町であるので、地域環境の差もある。</p> <p>旧勢和地区には、せいわの里・まめやなどがあり、昔ながらの生活方式を次世代に伝えようとしている施設（飲食・小売業）があり、また江戸時代徳川吉宗にも使えたという本草学者野呂元文の功績を讃えるために作られた中山薬草薬樹公園がある。せいわの里・まめやは、昔ながらの製法を守った味噌づくりや豆腐作りの体験観光も実施している。また“伊勢本街道”“和歌山別街道”“熊野街道”の3つの街道があるなど歴史のある地域である。</p> <p>一方旧多気地域には、ごかつら池ふるさと村とヴィソンがあり近代的な施設でアクティビティなどが盛んである。</p> <p>このように現多気町は新しいもの古いものが共有しあった町である。これらを活かした新たな観光メニューや観光ルートを開発し、多気町らしい観光を実施していく。</p>
--	---

## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>多気町商工会DMO推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多気町商工会（役職員）</li> <li>●行政（多気町役場 企画調整課）</li> <li>●観光関連事業者（アクティビティ事業者・体験型観光事業者・宿泊施設事業者）</li> <li>●（公社）三重県観光連盟</li> </ul> <p>・事業報告、決算報告 年1回 ・事業運営委員会 年3回程度</p> <p>※各事業においてマーケティング・商品開発等、必要な協議の場をつくる。</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多気町観光協会のホームページのアクセスログ（Google Analytics）を活用して実施</li> <li>・イベントや宿泊客等によるアンケート調査の実施</li> <li>・インバウンド旅行者に必要な多言語対応サービスの向上</li> </ul> <p>アンケートを実施し、結果を踏まえ商品の改善や新商品開発に取り組んでいる。今までは事業主の主観で商品改善や商品開発を行ってきたが、アンケート調査の結果を踏まえることによって、より消費者に“こだわり”が伝わる商品となる。アンケートの調査期間については毎年来訪者が多い11月1日～12月31日とし、内容としては、当地に来た目的、どの施設へ行ったか、行って良かったか、また来たいか等の質問をしている。</p> <p>多言語対応サービスについては、現在実施していないが、今後ヴィソンの来訪者が、他の多気町内観光施設にも来訪されると思われ、今後は英語、中国語、韓国語に要約したものを作成し、各観光地にて掲示していく。また今後は説明者が英語、中国語、韓国語を取得していくようにしていく。</p>

観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>WEBプラットフォームの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WEB分析の実施（ホームページ流入分析ソフトを使用した顧客属性分析）</li> <li>・継続した顧客分析</li> <li>・販路開拓とプロモーションの統一</li> <li>・SNSやブログ発信</li> </ul> <p>多気町商工会・多気町観光協会のホームページは各団体持っており、各団体の事業の予告・報告などを掲載している。ただし多気町商工会と多気町観光協会の合同開催の事業については、両方のホームページに掲載している。</p> <p>必要に応じて観光に関する事業所紹介や本地域で開催されるイベントの情報提供を適宜実施している。</p>
---------------------------------------	---

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

## 6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

### （1）必須KPI

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	500 ( 100)	500 ( 100)	500 ( 100)	600 ( 100)	800 ( 300)	800 ( 300)
	実績	237 ( 0)	218 ( 0)	269 ( 0)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	5 ( 0)	5 ( 0)	5 ( 0)	6 ( 1)	10 ( 3)	10 ( 3)
	実績	1 ( 0)	2 ( 0)	2 ( 0)			
●来訪者満足度 (%)	目標	90 ( 0)	90 ( 0)	90 ( 0)	90 ( 90)	90 ( 90)	90 ( 90)
	実績	89 ( 0)	84 ( 0)	80 ( 0)			
●リピーター率 (%)	目標	80 ( 0)	80 ( 0)	80 ( 0)	80 ( 60)	80 ( 70)	80 ( 75)
	実績	66 ( 0)	64 ( 0)	60 ( 0)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

## 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

多気町が掲げる観光振興事業に基づき、多気町と一体となった取組を行うとともに、観光消費額増加のため、観光委員会を設立し、戦略的なプロモーションを起こすことにより、地域経済の活性化を図る。

### 【設定にあたっての考え方】

#### ●旅行消費額

宿泊客やイベント、体験プログラム参加者のアンケートにより、宿泊平均消費額と日帰り平均消費額を算出。

三重県の『観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査』に基づき、当事務局で勘察した目標数値を設定。令和3年度に開催したワークショップでの皇學館大学 学長 河野訓氏との座談を通じ、平成25年度～平成26年度伸び率を参考に、令和2年度の数値は伸び率 -5%、令和3年度は -8%と設定した。

#### ●延べ宿泊者数

多気町の公共宿泊施設ふるさと村・勢山荘の年間宿泊者数を聞き取り、集計する。

令和4年11月1日～令和5年1月末日までの期間に実施した『泊まってクーポン』という事業において、町内で宿泊された方に地域内で使える商品券を発行し、それを通じて、各宿泊施設の宿泊者がそれぞれの商業施設で消費しているのか等のデータ収集を行った。

#### ●来訪者満足度

令和5年度以降の目標値については、コロナウイルス感染症により生活様式が変化しており、これに対応していけるかが不明確であるため、あえて目標値を維持した計画としている。平成30年度から多気町観光協会が定めている目標値と整合をとり、90%の目標値を設定している。

#### ●リピーター率

令和5年度以降の目標値については、コロナウイルス感染症により生活様式が変化しており、これに対応していけるかが不明確であるため、あえて目標値を維持した計画としている。平成30年度から多気町観光協会が定めている目標値と整合をとり、80%の目標値を設定している。

## (2) その他の目標

指標項目		2020	2021	2022	2023	2024	2025
		(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度	(R6) 年度	(R7) 年度
●観光レクリエーション入込客数(人)	目標	10,000 (1,000)	10,000 (1,000)	10,000 (1,000)	10,000 (1,000)	10,000 (1,000)	10,000 (1,000)
	実績	7,830 (0)	15,477 (0)	7,830 (0)			
●宿泊施設の売上高(千円)	目標	100,000 (100)	100,000 (100)	100,000 (100)	100,000 (100)	100,000 (100)	100,000 (100)
	実績	65,327 (0)	78,667 (0)	78,286 (0)			
●地域特産品販売の売上高(千円)	目標	150,000 (0)	150,000 (0)	150,000 (0)	150,000 (0)	151,500 (0)	153,015 (0)
	実績	118,233 (0)	114,017 (0)	108,721 (0)			

●アウトドアプログラム売上高（千円）	目標	10,000 ( 0)	10,000 ( 0)	10,000 ( 0)	10,000 ( 0)	10,100 ( 0)	10,201 ( 0)
	実績	6,230 ( 0)	10,147 ( 0)	4,436 ( 0)			
●WEB アクセス数（回）	目標	— (—)	1,000 (—)	10,000 (—)	11,000 (—)	12,100 (—)	13,310 (—)
	実績	— (—)	1,000 (—)	15,000 (—)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

多気町での観光振興を進めるにあたり、観光事業者で町指定管理者である“ごかつら池ふるさと村”“勢山荘”“元丈の館”の経営の安定化は、多気町が継続的発展する上でも重要である。

また色々なチャンネルを増やすことによって多気町観光の魅力を増すためにもアクティビティの推進は欠かせないものとなっており、プログラム開発も併せて行っていく。

### 【設定にあたっての考え方】

#### ●観光レクリエーション入込客数

ごかつら池ふるさと村・勢山荘・元丈の館・VISON多気株式会社への入込客数

令和元年にごかつら池ふるさと村・勢山荘・元丈の館の経営者が代わり、その時以来の目標値を設定している。

#### ●宿泊施設の売上高

ごかつら池ふるさと村のロッジと勢山荘の売上高

ごかつら池ふるさと村の代表者と勢山荘の代表者と打合せを通じて、以前からの目標値を設定。

#### ●地域特産品販売の売上高

ごかつら池ふるさと村のマルシェグランマと元丈の館の売上高

令和元年度の実績が143,1148千円であり、当該数値の5%アップを見込み150,000千円とした。令和2年度以降はコロナウイルス感染症により売上高が激減したため、コロナ禍前の水準に戻すべく、当初の数値をそのまま目標数値としている。令和6年度・令和7年度は前年比1%の伸び率で目標値を設定。

#### ●アウトドアプログラム売上高

ごかつら池ふるさと村のみかん狩り・いちご狩り・柿狩り・ブルーベリー狩りの売上高

コロナウイルス感染症により売上高が激減したため、今までの売上高を取り戻すべく、平成30年の実績8,977千円から10%増で設定している。令和6年度・令和7年度は前年比1%の伸び率で目標値を設定。

#### ●WEBアクセス数

多気町観光協会ホームページへのアクセス数

令和3年1月からホームページを立ち上げ、WEBアクセス数が3か月で1,000回数となったことから、令和4年度はその10倍を見込んで目標値を設定。その後は10%の伸び率で設定。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

### （1）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）	
2020（R2） 年度	61,301,890円	【都道府県からの補助金】	31,657,911円
		【市町村からの補助金】	10,100,000円
		【会費】	5,408,500円
		【収益事業】	0円
		【特定財源（預金利息）】	1,670,975円
		【手数料収入】	9,725,540円
		【その他】	2,738,964円
2021（R3） 年度	70,623,618円	【都道府県からの補助金】	31,627,774円
		【市町村からの補助金】	12,035,000円
		【会費】	5,541,000円
		【収益事業】	0円
		【特定財源（預金利息）】	1,127,621円
		【手数料収入】	9,599,458円
		【その他】	10,692,765円
2022（R4） 年度	82,520,443円	【都道府県からの補助金】	28,738,202円
		【市町村からの補助金】	11,500,000円
		【会費】	5,869,000円
		【収益事業】	3,490,000円
		【特定財源（預金利息）】	1,497,907円
		【手数料収入】	8,357,377円
		【その他】	23,067,957円
2023（R5） 年度	65,606,000円	【都道府県からの補助金】	28,283,000円
		【市町村からの補助金】	11,500,000円
		【会費】	5,776,000円
		【収益事業】	0円
		【特定財源（預金利息）】	1,100,000円
		【手数料収入】	8,153,000円
		【その他】	10,794,000円
2024（R6） 年度	65,800,000円	【都道府県からの補助金】	28,300,000円
		【市町村からの補助金】	11,500,000円
		【会費】	5,800,000円
		【収益事業】	0円
		【特定財源（預金利息）】	1,200,000円
		【手数料収入】	8,200,000円
		【その他】	10,800,000円
2025（R7） 年度	65,800,000円	【都道府県からの補助金】	28,300,000円
		【市町村からの補助金】	11,500,000円
		【会費】	5,800,000円
		【収益事業】	0円
		【特定財源（預金利息）】	1,200,000円
		【手数料収入】	8,200,000円
		【その他】	10,800,000円

## (2) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)	
2020(R2) 年度	61,301,890円	<b>【一般管理費】</b> <b>【情報発信・プロモーション】</b> ※可能であれば国内外の割合を記載 <b>【受入環境整備等の着地整備】</b> <b>【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】</b> <b>【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】</b> <b>【観光イベントの開催費】 等</b> <b>【その他】</b>	10,885,711円 0円 0円 0円 0円 1,570,294円 48,845,885円
2021(R3) 年度	70,623,618円	<b>【一般管理費】</b> <b>【情報発信・プロモーション】</b> ※可能であれば国内外の割合を記載 <b>【受入環境整備等の着地整備】</b> <b>【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】</b> <b>【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】</b> <b>【観光イベントの開催費】 等</b> <b>【その他】</b>	12,633,676円 0円 0円 0円 0円 3,994,793円 53,995,149円
2022(R4) 年度	82,520,443円	<b>【一般管理費】</b> <b>【情報発信・プロモーション】</b> ※可能であれば国内外の割合を記載 <b>【受入環境整備等の着地整備】</b> <b>【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】</b> <b>【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】</b> <b>【観光イベントの開催費】 等</b> <b>【その他】</b>	14,539,899円 0円 0円 0円 0円 4,268,753円 63,711,791円
2023(R5) 年度	65,606,000円	<b>【一般管理費】</b> <b>【情報発信・プロモーション】</b> ※可能であれば国内外の割合を記載 <b>【受入環境整備等の着地整備】</b> <b>【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】</b> <b>【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】</b> <b>【観光イベントの開催費】 等</b> <b>【その他】</b>	13,596,000円 0円 0円 0円 0円 3,950,000円 48,060,000円
2024(R6) 年度	65,800,000円	<b>【一般管理費】</b> <b>【情報発信・プロモーション】</b> ※可能であれば国内外の割合を記載 <b>【受入環境整備等の着地整備】</b> <b>【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】</b> <b>【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】</b>	13,700,000円 0円 0円 0円 0円

		【観光イベントの開催費】 等 【その他】	4,000,000 円 48,100,000 円
2025 (R7) 年度	65,800,000 円	【一般管理費】 【情報発信・プロモーション】 ※可能であれば国内外の割合を記載 【受入環境整備等の着地整備】 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 【観光イベントの開催費】 等 【その他】	13,700,000 円 0 円 0 円 0 円 0 円 4,000,000 円 48,100,000 円

### (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

多気町の補助金を運営資金として、多気町観光協会事業を行なっているが、令和6年度から多気町指定管理施設を強化し、収益事業にも取り組んでいく。これにより集客をアップし自立した組織を形成していく。

令和8年度を目途に新事業（たきぶら）を立ち上げる。この事業の収入として100万円を見込んでいる。また5年後にはふるさと納税の事務を請負ようになっている。この収入として1000万円を見込んでいる。

## 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

町指定管理者と連携し、地域DMOの推進体制を強化し、収益が上がり自立するような対策を取っていきます。

多気町は、多気町商工会を本町における地域DMOと登録したいので、多気町商工会とともに申請いたします。

## 9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

役割は重複しない。

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	堀江勝昭
担当部署名（役職）	事務局長
郵便番号	519-2181
所在地	三重県多気郡多気町相可 1687-8
電話番号（直通）	0598-38-2117

F A X 番号	0598-38-2296
E - m a i l	taki-s@ma.mctv.ne.jp

**1 1 . 関係する都道府県・市町村担当者連絡先**

都道府県・市町村名	三重県多気町
担当者氏名	青木和之
担当部署名（役職）	企画調整課 商工観光係長
郵便番号	519-2181
所在地	三重県多気郡多気町相可 1600
電話番号（直通）	0598-38-1124
F A X 番号	0598-38-1140
E - m a i l	k-aoki@town.mie-taki.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

三重県多気町

【設立時期】 2024年4月1日

【設立経緯】

観光協会があるが、運営資金を多気町に委ねているため新事業を展開できないため運営資金を作れる組織が必要となった。

【代表者】 松浦信男

【マーケティング責任者(CMO)】 堀江勝昭

【財務責任者(CFO)】 高垣内利江

【職員数】 8人(常勤7人(正職員5人・出向等2人)、非常勤1人)

【主な収入】

収益事業 68.5百万円、委託事業 0.7百万円(2022年度決算)

【総支出】

事業費 11.8百万円、一般管理費 56.8百万円(2022年度決算)

【連携する主な事業者】

一般社団法人医食同源みえ、丹生大師の里管理組合、合同会社元丈フォレスト

KPI(実績・目標)

記入日: 令和5年12月26日

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (百万円)	目標	500 (100)	500 (100)	500 (100)	600 (100)	800 (300)	800 (300)
	実績	237 ( 0)	218 ( 0)	269 ( 0)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	5 ( 0)	5 ( 0)	5 ( 0)	6 ( 1)	10 ( 3)	10 ( 3)
	実績	1 ( 0)	2 ( 0)	2 ( 0)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	90 ( 0)	90 ( 0)	90 ( 0)	90 ( 90)	90 ( 90)	90 ( 90)
	実績	89 ( 0)	84 ( 0)	80 ( 0)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	80 ( 0)	80 ( 0)	80 ( 0)	80 ( 60)	80 ( 70)	80 ( 75)
	実績	66 ( 0)	64 ( 0)	60 ( 0)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

中京圏・関西圏の観光客  
(アクティビティ・ライト・ミドル層)

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ・主要施設、及びアウトドア施設へのパンフレット設置
- ・SNS展開 (Facebook、Instagram、Twitter) やWEB施策 (リスティング広告、SEO対策等)
- ・顧客のリピーター化 (ファンクラブ的機能)
- ・メールマーケティング
- ・三重県事業との連携

【観光地域づくりのコンセプト】

『イノベーションの街 多気町』

多気町には多くの文化財が存在する。また新しい施設ごかつら池ふるさと村やヴィソンがある。多気町の文化財を訪れることにより、多気町の文化・歴史を学び、ごかつら池ふるさと村やヴィソンでアクティビティを楽しむ、美味しいものに舌鼓を打ち、また体験型観光を行なえる町。

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

再確認するという意味で令和3年に、皇學館大学の河野氏を招き研修会を開催した。

【受入環境整備】

空き家を活用するため古民家再生事業を実施し、町外からの住民を入れるように行った。

【情報発信・プロモーション】

地域特産品を使用した『地元めし』を開発し全国に発信した。(平成29・30年)

【その他】

なし。

